

## 茂原市の大気中の放射線量について

茂原市では、平成 23 年 5 月 30 日から、携帯型放射線測定器で市内の小学校 14 校の校庭における放射線量の測定を実施しています。

今回の測定結果は表のとおりでした。この結果は、「放射性物質汚染対処特措法」に基づく基本方針の、追加被ばく線量を年間 1 ミリシーベルト以下とするための基準、1 時間当たり 0.23 マイクロシーベルトを下回っており、市としては健康に影響が無いものと判断しています。(表の下部に解説があります。)

### 千葉県測定マニュアルに基づく測定結果 (県様式)

測定地点名	測定値* ( $\mu\text{Sv/h}$ )		地面の形状	測定日 天 候
	1.0m	0.5m		
茂原小学校	0.05	0.04	土	2月12日 曇
萩原小学校	0.05	0.05	土	2月12日 曇
東郷小学校	0.07	0.06	土	2月12日 曇
東部小学校	0.05	0.05	土	2月12日 曇
二宮小学校	0.07	0.08	土	2月12日 曇
緑ヶ丘小学校	0.08	0.08	土	2月12日 曇
西小学校	0.06	0.07	土	2月12日 曇
五郷小学校	0.05	0.05	土	2月12日 曇
鶴枝小学校	0.08	0.08	土	2月12日 曇
中の島小学校	0.04	0.05	土	2月12日 曇
豊田小学校	0.06	0.06	土	2月12日 曇
本納小学校	0.05	0.06	土	2月12日 曇
新治小学校	0.05	0.05	土	2月12日 曇
豊岡小学校	0.04	0.04	土	2月12日 曇

※  $\mu\text{Sv/h}$  = 1 時間当たりマイクロシーベルト

- ・測定機器名：日立アロカメディカル社製 TCS-172B (県統一機種)
- ・1 時間当たりの放射線量、0.23 マイクロシーベルトの考え方

国は、追加被ばく線量を年間 1 ミリシーベルト以下としていることから、1 時間当たりの放射線量は以下のとおりとなります。なお、1 日の行動パターンを 8 時間は屋外で、16 時間を屋内で過ごすものとして、屋内の遮へい効果を 0.4 倍 (木造家屋) として算定します。

1 ミリシーベルト / 年 = 1,000 マイクロシーベルト / 年

1,000 マイクロシーベルト  $\div$  365 日 = 2.74 マイクロシーベルト / 日

2.74  $\div$  (8 時間 + 16 時間  $\times$  0.4)  $\div$  0.19 マイクロシーベルト / 時

大地からの放射線量  $0.04+0.19=0.23$  マイクロシーベルト/時

○参考 1 として、地上 5cm での測定結果は下表のとおりです。

(単位： $\mu$  Sv/h)

茂原小学校	萩原小学校	東郷小学校	東部小学校	二宮小学校	緑ヶ丘小学校	西小学校
0.04	0.05	0.07	0.05	0.09	0.08	0.07
五郷小学校	鶴枝小学校	中の島小学校	豊田小学校	本納小学校	新治小学校	豊岡小学校
0.05	0.09	0.05	0.07	0.06	0.05	0.05

○参考 2 として、平成 23 年 10 月下旬から市が所有する測定器 (Radi : HORIBA PA-1000) により保育所、幼稚園及び中核的な公園の放射線量を測定しています。その結果は下記のとおりで、いずれも 1 時間当たり 0.23 マイクロシーベルトを下回っています。

- ① 10 保育所における地上 1m での測定結果 (H26. 2. 12)  
最高  $0.072 \mu$  Sv/h (0.378mSv/年)      最低  $0.052 \mu$  Sv/h (0.273mSv/年)
- ② 4 幼稚園における地上 1m での測定結果 (H26. 2. 4)  
最高  $0.076 \mu$  Sv/h (0.399mSv/年)      最低  $0.064 \mu$  Sv/h (0.336mSv/年)
- ③ 茂原公園における地上 1m での測定結果 (H26. 2. 6)  
集水樹  $0.045 \mu$  Sv/h (0.237mSv/年)      遊具付近  $0.052 \mu$  Sv/h (0.273mSv/年)  
美術館入口  $0.068 \mu$  Sv/h (0.357mSv/年)
- ④ 萩原公園における地上 1m での測定結果 (H26. 2. 6)  
集水樹  $0.047 \mu$  Sv/h (0.247mSv/年)      遊具付近  $0.052 \mu$  Sv/h (0.273mSv/年)